

パブリックコメント結果について

- 1 実施期間 令和3年2月3日（水）～令和3年3月5日（金）
- 2 実施結果 いただいたご意見：2名（3件）
- 3 取りまとめの注意点

提出いただいたご意見につきましては、取りまとめの都合上、適宜整理・要約させていただきます。

	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>サービスの担い手の増加が考えにくい将来展望から、介護人材1人当たりの労働生産性を向上させる必要がある。</p> <p>介護人材の生産性向上について、基本理念の項で言及すべきではないか。</p>	<p>本計画で基本理念は、計画の土台となっている基本的な指針であり、「目標」となっているものです。</p> <p>そのため、基本理念の項ではその方向性のみを記載しているものでございます。</p> <p>なお、本市ではこれまで介護予防活動の推進に力を入れて取り組んでまいりました。</p> <p>実際に、要介護認定率が伸びておらず、効果として現れているものと考えております。</p> <p>このような状況を踏まえ、現状ではこの方針を継続し、必要となるサービス量を抑制することに力点を置いて取り組みたいと考えておりますことから、このように記載しております。</p>
2	<p>通信環境の整備、ICTの導入によって、在宅高齢者・同居者への遠隔サービス（見守り支援等）に積極的に取り組むべきではないか。</p> <p>財源として、自治体に裁量のある介護予防事業・総合事業や包括的支援事業等もあるため、介護保険の適用も含めた総合的な視点が必要である。</p>	<p>ご指摘のとおり、ICTの活用の必要性については認識しております。</p> <p>本市は現在、地域包括ケアシステムの一環として、34ページの【主な取組】に記載しております「住民同士による高齢者の見守り支援活動」を推進しているところでございます。</p> <p>この見守り支援活動の効果等を踏まえまして、今後コロナ過の対応を含み検討してまいります。</p> <p>なお、ICTにつきましては、介護給付の「福祉用具貸与」にて、認知症高齢</p>

		<p>者で要件を満たす場合にはGPS探知機等の利用が可能です。</p> <p>また、計画中に明記はしていませんでしたが、37ページの内容に含まれるものとして、認知症等により判断力や記憶力が低下した認知症高齢者が行方不明となった場合に備え、早期の発見、保護及び身元確認につなげるため、事前登録の拡充や、QRコードを活用した探知システムの導入を準備しております。</p> <p>いただいたご意見を踏まえまして、計画中の取り組みに追加させていただきます。</p> <p>なお、財源として挙げられている地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業や包括的支援事業・任意事業）につきましては上限がございます。</p> <p>そのため、多額の費用を要する事業は、取捨選択して実施する必要があることをご理解いただきますようお願いいたします。</p>
3	<p>市外にかかりつけ医、薬局がある場合の対応に、接点のネットワークを組めるように構成してほしい。</p> <p>ICTでスマートシティ構想を推進しているし、政府も医療のネットワーク連携を推進しているのでこれに対応出来るようにしてほしい。</p>	<p>熊本県では、41ページに記載しております「くまもとメディカルネットワーク」で連携を行っておりますが、利用施設は一部ですので、市内事業所のICT化については、今後も協議を行ってまいります。</p> <p>しかし、県外の医療機関については、各県異なるシステムを使用しておりますことから、現在のところ連携が難しい状況でございます。</p> <p>なお、荒尾市では、同ページに記載しておりますあらお健康手帳の普及・活用により、医療・介護・福祉とのネットワーク強化を図っております。</p> <p>今後、あらお健康手帳が市外に広がるよう、関係機関と連携し、周知・啓発を行ってまいります。</p>